



パークセンターだより 第106号 2010年12月・2011年1月号



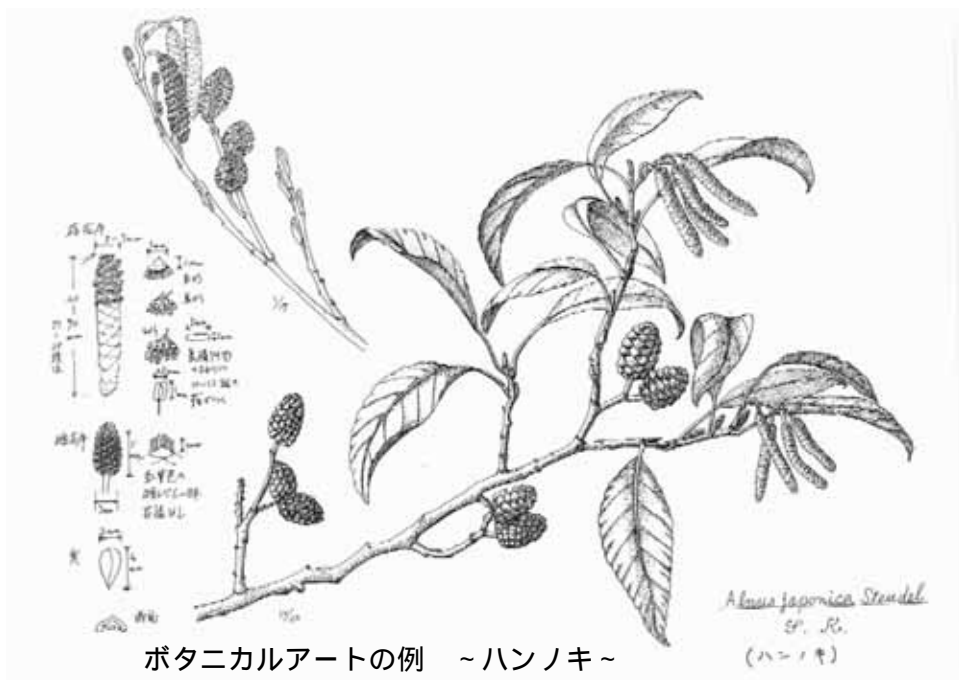
自然解説員
かわはたしよこ
川端祥子

しよくぶつさいみつが

しよくぶつ かんさつ
植物の観察と植物画

「ボタニカル・アート」というのを聞いたことがありますか。植物細密画ともいわれています。現代では女性を中心に、きれいなお花が描けたらいいなと一時期ブームになっていました。最近ではちょっと下火のようですが。

一方では「ボタニカル・アート」はヨーロッパから伝わった絵画のひとつと思われるようですが、なぜこのような描き方が広がったのでしょうか。初めに必要になった人々は、病気を治す仕事をする人だったと思います。まだ今のように薬がなかった時代、自然のものを利用して病気を治していました。そのため、薬効のあるもの、毒のあるものを確実に覚えなければなりません。特に植物はその中心だったと思います。



ボタニカルアートの例 ~ハニノキ~

しかし、これはあくまでも個人の覚え書きに過ぎません。その後、金持ちや王侯貴族たちに目新しい植物を売り込むプラントハンターや園芸家たちが植物の見本としてできるだけ正確に画家に描かせたのが始まりといわれています。今でいう写真と同じ役目を持っていたのでしょ

う。そして、次第に美術品として認められるようになり、部屋に飾ったり本にして楽しむようになっていったと思われ

ます。では日本ではどうでしょうか。医学を志す人には当然必要です。その他生活を豊かにするフスマやランマを飾る絵師や彫師たち、生活を色取る器や小物などもウルシや彫金がほどこされ、花鳥風月が描かれるようになると、そのためのスケッチも職人たちには大変必要なものとなり、腕のよい職人ほど売れっ子になるため常に腕をみがいていかなければならず、今も多くのスケッチが残されています。ただ日本のものは筆で描かれています。鉛筆などは明治以降に日本に入ってきたものです。色をつけた絵画としての植物画は、江戸時代(鎖国時代)にオランダ人の医師として来日したケンベル、ツエンベリー、シーボルトの3人の影響が大きかったようです。ケンベルとシーボルトはドイツ人、ツエンベリーはスウェーデン人ですが、この頃日本はオランダのみに開国していたのです。

それに医師なら日本人に接することも可能だし、薬にする植物の採集もできるし、そのための旅行もできるのです。でもケンベルとツエンベリーは日本の植物を持ち帰りたかったし、香料としての植物も調べたかったのです。その中でもシーボルトは日本の植物を紹介するために、日本人の絵師に西洋の絵の具を使わせて植物細密画として描かせたのです。これが日本のボタニカルアートの始まりといわれています。

では現代に戻って植物細密画はどのように描くのでしょうか。

まず描こうと思う植物を良く見ること。花、葉、茎、根などすべてを出来るだけ詳しく見ましょ

う。できればルーペも使って。花のつき方、花の形や色、葉の形や茎とのつながりかた、鋸歯の有無、大きさ、毛の有無等。これが観察するという事です。そしてできるだけ実物大に描いてみましょう。大きすぎたり、小さくした場合はきちんと縮尺もいれておきましょう。

色をつけると影が見えてくるので立体感がでてきます。

さらに図鑑を開いて花の咲く時期や生えている場所や地域なども調べるとい

いですね。

描いたり調べたりすることで次に出会ったとき、すぐこの植物の名前や仲間が思い出せると思います。この積み重ねが植物観察にとって大変重要なことなのです。

ひとつ例を挙げておきましょう。

ミヨウガとヤブミヨウガはどちらも名前はよく似ていますが、ミヨウガはショウガ科、ヤブミヨウガはツククサ科です。何が違うと思いますか。花が全然違うのです。葉の形や大きさはとてもよく似ていますが、さわってみるとヤブミヨウガのほうが葉や茎がザラザラしています。花の形はもちろん違いますが、ミヨウガは地下茎から伸びた花茎に花の房が一つつきます。そして地面に近いところで次々と咲いていきます。それに対して、ヤブミヨウガは茎のてっぺんに花茎を伸ばし、そのまわりを輪状に小さな花を咲かせるのです。これで名前は葉が似ていることからついたことがわかんと思いますし、花がなくても葉のつき方や感触で見分けることが出来ると思います。このように植物の名前には花の形からついたものや地域名のついたものなどさまざまですが、同じような花はその花一輪のおしべやめしべのつき方なども調べて科という仲間に分けられているのです。だから花の特徴を覚えれば、その特徴によく似た花を見つけたとき、その知っている花に近い仲間ではないかと予測できるのです。

ここまできたら、あとは図鑑の出番です。人に聞いたただだと、すぐ忘れてしまうことが多いと思いますが、自分で調べると割合よく覚えているものですよ。がんばって楽しんでみてください。

～自然観察舎 湿地の観察会のご案内～

実施時間	実施日	【定員】
10:00～10:30	土曜日 日曜日 祝日	先着25名(当日受付)
11:00～11:30		【受付】
13:30～14:00		自然観察舎窓口
14:30～15:00		【電話】 047-340-4140

梅（ウメ）

みどりの相談員
こばやし きよ じ
小林 喜代 次

梅と日本人の生活

梅の季節を迎えました。梅は寒さに耐え、百花にさきがけて美しい花を開き香りを漂わせます。日本人の心と生活に深くかかわり、古来から愛されてきました。観賞においては、一斉に咲いた豪華さを楽しむ桜に対し、梅は一輪一輪の清楚さを味わうとともに、樹幹の古さや曲がりを観賞するなど、日本人の美の根幹に通じるものをもっています。梅干しは生活に欠かせない食物となり、家庭の常備食としての梅干し、梅酒、梅ジャムなどと日本人とのかかわりの深い植物です。

手入れ

- | | | |
|-----|---------------|---|
| 庭植え | ・ 植え付け、植え替え時期 | 11～12月、2月下旬～3月中旬 |
| | ・ 剪定時期 | 実をとる梅では、12～1月 花を楽しむ梅では花後（3月）にします。樹形と新梢の伸び具合によって5月や夏に枝の整理をします。 |
| 鉢植え | ・ 置き場 | 正月に花を咲かせる場合は、12月ごろから室内の日当たりのよい所で開花を促進させます。花後2月下旬～3月上旬ごろから戸外に移し、その後はよく日光にあてます。 |
| | ・ 植え替え | 2～3年に1回します。 |
| | ・ 剪定時期 | 花後にします。 |



ウメの樹形

（21世紀の森と広場みどりの里）

肥料、病虫害

肥料は花後に。アブラムシ、カイガラムシは早めに駆除します。



ウメの花

★パークセンター12月・1月の催し物

講座名	日時	定員	講師	費用	受付
自然観察会 「森の実りと紅葉の観察会」	12月4日(土) 10:00 から 12:00	20名	森林インストラクター 國安哲郎氏	無料	11/14~
園芸教室 「おどり葉ポタンの寄せ植え」	12月11日(土) 13:30 から 15:00	24名	みどりの相談員 丸尾三恵子氏	2,000円	11/14~
みどりの講習会 「ミニ門松作り」	12月12日(日) 13:30 から 15:30	20名	県立流山高校 教諭 小松直木氏	1,000円	11/14~
バードウォッチング(雨天 観察舎)	12月19日(日) 10:00 から 11:30	25名	自然解説員 今村裕之氏	無料	11/14~
バードウォッチング(雨天 観察舎)	1月10日(月) 10:00 から 11:30	25名	自然解説員 直井 宏氏	無料	12/15~
園芸教室 「果樹の剪定」	1月22日(金) 13:30 から 15:00	45名	みどりの相談員 野口宣二氏	無料	12/15~
バードウォッチング(雨天 観察舎)	1月23日(日) 10:00 から 11:30	25名	自然解説員 今村裕之氏	無料	12/15~

年末年始・休館(園)案内

施設名	電話番号	お休み
公園	047-346-0121	12月30日(木)~1月1日(土)
パークセンター	047-345-8900	12月27日(月)~1月4日(火)
自然観察舎	047-340-4140	12月27日(月)~1月4日(火)
アウトドアセンター	047-385-1815 047-384-2234	12月26日(日)~1月7日(金)
カフェテラス (プレリュード)	047-347-5877	12月27日(月)~1月3日(月)
里の茶屋	047-347-6850	12月29日(水)~1月5日(水)
売店(わかば)	-	12月28日(火)~1月1日(土)
松戸市立博物館	047-384-8181	12月27日(月)~1月4日(火)
森のホール21	047-384-5050	12月27日(月)~1月4日(火)

うどんげ 優曇華の花

自然解説員
みやざき ゆうた
宮崎 祐太

みなさまは優曇華の花というのを知っていますか？

優曇華というのは仏教のお話の中での想像上の花で、正式名称は優曇波羅華(ウドンバラ・プシュバ)と言い、3000年に1度咲き、咲いた時には仏教の中の偉い人が^{げんせ}現世に現れると言われていています。

日本では地方によって良い事の^{しら}報せとも、悪い事の報せとも言われています。さて、ここまでは想像上のお話ですが、モデルとなった植物の花が実在します。イチジクの仲間だったり、^{もくれん}木蓮の仲間だったりと様々ですが、今回のどんぐりで紹介するのは、もっと身近な優曇華の花とその親についてです。その優曇華の花というのは「虫の卵」です。

クサカゲロウという虫の卵は、とてもおもしろい形をしていて、白い糸の先に緑色の卵がぶら下がる形になっています。こんなに面白い形をしているから、昔の人は正体がわからずに、優曇華の花としたのかも知れません。



クサカゲロウの卵

この優曇華の花は、珍しい訳ではなく、家の天井や自転車の車輪など色々な所でみることが出来ます。探せば21世紀の森と広場の中でも、葉っぱの裏などを注意深く探せば見つける事が出来ると思います。ちなみに私は^{じょうばんせん}常磐線の電車の中でクサカゲロウの成虫を見つけたことがあるので、つり革とかにぶら下がっているかも知れません。

この卵は、^{でんせつ}伝説のように前触れでも何でもありませんが、その卵から出てくる幼虫は人間の役に立つのです。見た目はアリジゴクのようなのですが、アリジゴクのように、巣を作るのではなく、葉っぱの上とかを自由に歩き回ります。そして、人間にとって害になる虫(アブラムシや小さいアオムシなど)を食べてくれます。実際に、イチゴに害をなす虫を



上：アリジゴク幼虫
下：クサカゲロウ幼虫

食べさせるために、クスリのようにイチゴに使われていたことがあります(現在は販売中止)。

また、この虫の成虫は緑色のよわよわしい姿をしています。クサカゲロウという名前は大体の人は「草色のカゲロウ」ということでクサカゲロウだと思のですが、実際は「臭^{くさ}いカゲロウ」からクサカゲロウという名前が出来たと言われていいます(これも諸説^{しよせつ}あるうちの1つですが)。実際に、種類によっては臭いです。幼虫とは違い、こちらは一目見たことがある方も結構いるのではないかと思います。この成虫は、基本的には花粉^{かふん}や蜜^{みつ}をなめて生きています。一部、例外的にアブラムシなどを食べる種類もいますが。



クサカゲロウ成虫

冬の間には成虫を見つけるのは少し難しいかも知れませんが、成虫で越冬^{えっとう}している種類があるので、頑張れば冬の寒い中をヒラヒラと飛ぶクサカゲロウを見ることが出来ます。そして、見つけたらぜひ捕^{つか}まえて匂^{にお}いを嗅^かいでみて下さい。たまたま捕まえたそのクサカゲロウが臭い種類であれば、臭-カゲロウであろう事を理解してもらえるのではないかと思います。

そして、^{はかな}儚げにヒラヒラと飛びながらも、実は何か月も生きて儚くないし、幼虫は他の虫をチュウチュウ食べて日本の農業を手助けしていたクサカゲロウのことをしっかりと記憶^{きおく}に刻みこんでもらえたらと思います。

みどりの相談室

パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問に無料でお答えします。電話でもお受けしていますのでお気軽にご相談下さい。

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前10時～12時・午後1時～3時30分

【電話】 047-345-8738



ドンちゃん記念スタンプコーナー

このわくのなかにスタンプをおしてね！



ちょうせんじょう

グリちゃんからの挑戦状

きみにこのもんだいがとけるかな？

もんだい: ボタニカルアートって、^かいったいなにを描くものなんだろう？

1. ^{どうぶつ}かわいい動物 2. ^{しょくぶつ}いろいろな植物 3. かわいいロボット！
こたえは、どこかのページにあるよ！

ご来園の皆様へお願い

安全、快適に公園を利用させていただくため、本公園ではいくつかのルールがあります。
自転車（キックボード含む）の乗り入れ、**ペット**の持ち込み、**テント**設営、**魚釣り**（たこ糸を使ったザリガニ釣りはOK、テグスは不可）などは禁止となっています。
また**動植物の採集**や鳥などへ**エサをやる**こともかたくお断りしています。きれいな花もみんなで採ったら無くなってしまいますし、^{かわい}可愛いからと、人間の食べ物を鳥などにあげると自分でエサを捕れず、自然界で生きていけなくなり、かえってかわいそうなことになってしまいます。ルールを守って楽しく過ごして下さいね。

発行日：2010年12月1日
発行：21世紀の森と広場パークセンター
開館：9：00～16：00
（3月1日からは9：00～16：30）
月曜休館（祝日開館/翌日休館）
〒270-2252 松戸市千駄堀269
TEL 047-345-8900
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。



21世紀の森と広場シンボルキャラクター
ドンちゃん・グリちゃん